

事務所ニュース

労働保険事務組合
第一労務協会

京都市西京区嵐山宮ノ北町8番18
TEL. (075) 864-3336
FAX. (075) 864-3367

〒616-0025

社会保険労務士 光木事務所

スポット

賃上げ保留に募る不満解消 格差の合理的説明が重要に

日本の4半期GDPが3期連続でプラス成長を達成したという少し明るいニュースが、報じられています。そのせいもあって、2009年は、辛うじて日本のGDPは中国を上回ったようです。

ただし、2010年に逆転されるのは、ほぼ確実といわれています。一昨年のリーマン・ショックのころには、広東省をはじめとして工場閉鎖が相継ぎました。しかし、今は上海万博も控え、すっかり経済は勢いを取り戻したようです。テレビ等の受け売りになりますが、その強さの秘密は「格差」にあるといわれています。沿岸地域ではかなり賃金水準が向上しましたが、内地

には所得上昇の動きから半ば取り残されたような人たちがたくさん存在します。現在でも比較的安い豊富な労働力が、国際競争力のバックボーンになっているのです。

こういうと、経営者のなかには、「やはり、日本の賃金は今でも高すぎるんだ、賃上げをカットするほかない」といった結論に走る人もいます。それは一面の真理ですが、問題のすべてではありません。

実のところ、中国の高成長は、「やむにやまれない」事情に駆られてのことだという話も聞きます。これだけ格差が広がって、どうして庶民の怒りが爆発しないかという点、全体として底上げされているため、

貧困層もいくらかは成長の恩恵を受けているからです。そのギリギリのラインが、7%成長あたりだと説く識者もいます。

日本は、世界でも有数の平等社会といわれていますが、それでもゼロ成長、マイナス成長が続けば行き場のない怒りが鬱屈してきます。非正規労働者の待遇改善を求める声は、現在の低成長と共振する形で強まっています。世界標準であれば「格差」の幅は小さくても、従業員は社内の「不透明な」格差に神経を尖らせている可能性があります。経営者として格差の理由を説明する義務がありますし、説明できなければ、制度の改善を急ぐ必要があります。

2010

4

軍隊的組織

知って得する



賃金実務

陸軍を例にとると、最小単位は分隊または班で4人から12人程度です。軍曹とか伍長とかが、ヘッドとなります。

分隊がいくつか集まって小隊、小隊が集まって中隊、以下、大隊、連隊、旅団、師団というように組織の規模が大きくなります。小隊だと中尉クラス、連隊だと大尉クラスが指揮を取ります。尉官・佐官でも、組織の長に選任されるとは限りません。

会社組織だと、最小組織が班(班長が管理)、班がいくつか集まって課、部、事業部というように組織のピラミッドが形作られます。

アメリカ企業の人員組織形態は、軍隊をモデルとしたという説があります。近代の軍隊は、国の違いを超えて、各国おおむね共通です。多人数を効率良く動かす場合、適切な形態は自ずと一つのパターンに収斂するようです。「軍隊的」組織の利点とその限界を、考えてみましょう。

課の管理職は、課長格の資格者のなかから選抜するというように、ラインの長の職名と社内資格はゆるやかに連動しています。

意思伝達の迅速さ重視 集団束ねる焦点は班長

各国軍隊の形が似通っているのは、指揮命令の迅速性と徹底性の両方を加味するとベストな形態に限られるからです。組織階層があまりに多すぎると、命令が迅速に最下端まで行きわたりません。し

かし、階層を少なくした結果、1人のリーダーが指揮する人数があまりに多くなると、命令が徹底しません。組織全体の人数に合わせ、自ずと何階層の仕組みが適切なものが決まります。会社組織も、考え方は同じです。

さらに、軍隊と「工場タイプの産業」を比較すると、別の共通点が見つかります。軍隊は、大きく分けて、士官(将官・佐官・尉官など)と下士官・兵卒(曹長・1・2等兵など)の2グループがあり

多くの(ゴロツキみたいな連中も含めた)兵卒を直接束ねるのは人生経験豊富な下士官です。

工場組織でも、若いホワイトカラー技師の下に班長・職長(フォアマン)が位置しますが、部下の人心を掌握するのはフォアマンの役目です。

こうして見てみると、大工場が軍隊方式の人員管理スタイルを採用したのは、それなりに合理的な判断だったといえるでしょう。

しかし、それが「現代の企業組織」にそのままあてはめられるかは疑問です。第1に、コミュニケーション・ツールが大幅に発達した結果、「階層のフラット化(意識決定の迅速化)」が可能になりました。第2に、職員・工具に分けた人事管理は既に過去の遺物になりつつあります。

現在は、「命令一下」ではなく、個々の社員の創造性(ベンチャー精神)を引き出すような新しい組織形態が模索されつつあるといえます。